

視聴覚教育

NO. 331
発行日 19.3.22
発行 岡崎市AVL
編集 視聴覚教育委員会
学習情報部

視聴覚用語
「ウィキペディア」
「ウィキペディア」とは、ウィキメディア財団が主催し、世界中の利用者によって執筆・編集されているインターネット上のフリー百科事典である。利用する際、とくにユーザー登録などの手続きは必要ない。誰でも自由に利用できる。項目を増やしたり、解説を追加・変更したりすることもできる。

この一年の歩み

学習情報指導員 名倉嘉章

教育におけるICTの活用が推進される中、コンピュータやネットワークなどメディアの整備が飛躍的に進んでいる。しかし、そこからどんな情報を取り出すことができるかという点では、信頼できる高品質なコンテンツの整備が求められている。そういった意味でも、全国自作視聴覚教材コンクールにおいて、文部科学大臣賞を含め4作品が入賞、愛知県自作視聴覚教材コンクールでも、6年連続2部門で最優秀賞・県教育長賞を受賞、多くの作品が入賞したことは意義の大きいことである。

この一年、子供たちの制作活動も大きな成果をあげた。全国子ども科学映像祭において城北中理科部が優秀作品賞を受賞したのははじめ、子どもニュースプロジェクトにおいては井田小と美川中が優秀賞を、創作童話・絵本コンテストにおいては竜海中パソコン部が2年連続経済産業大臣奨励賞を受賞したなど多くの賞を受けた。昨年に引き続き、視聴覚ライブラリーでは、文部科学省「子どもの居場所作り事業」の委託を受け、市内5小学校で子どもビデオ教室を開催した。また他の小学校5校では、同事業の子

どもインターネット教室も開催した。

実践実践においては、松下教育研究財団より実践研究助成を藤川小が受け、携帯端末の活用について研究を進めた。また、ちゅうでん教育振興財団より学習情報部がネットワーク活用について助成を受け研究を進めた。

施設設備の面では、小学校10校のパソコン教室の更新や中学校3校の校内LAN整備、8校の職員一人一台の業務用PCの配置が行われた。システム運用の面では、視聴覚ライブラリーの「教材・機材予約システム」が本格稼働し、コンテンツ提供の広がりを見せた。「岡崎教育ネットワーク」の機能向上では、ブログシステムの導入により各学校のホームページによる情報発信の簡略化が進められた。さらに、安全安心課が運用する「防犯情報メール配信サービス」を活用して、防犯情報だけでなく、市内中学校から即時性のある情報発信が可能となった。

一方、市教育委員会の特別委員会である情報教育推進委員会もマルチメディア開発事業を推進、資料の収集・開発、利用実践事業の実施、研修の企画・運営を進めた。今年度も多方面で多くの成果をあげることができ、岡崎の視聴覚教育、情報教育の水準の高さを示すことができた。

実践報告II

「小学校二年生 ビデオ作りに挑戦」

自分史をつくらう」

常磐小学校 山口 秀樹

ビデオ作りというと、難しいというイメージが先行する。しかし、写真をスライドのように提示して、作文を読む形であれば、2年生でもできるのではないかと思ひ実践した。その際、難しいと思われるのは、写真をパソコンの中に取り込むことと、つないだ映像と、子供が読んでナレーションを結びつける作業だ。そこで、この二つについては、教師で行うことにした。実践では、まず、自分の生い立ちを家族にインタビューし、コンテ(台本)作りをした。

コンテができたところで、スライド形式のビデオを作る。あらかじめ教師が取り込んでおいた写真を、子供が見せたい順番に並べる。編集には、ムービーメーカーを使った。操作が簡単で、タイトルや、写真が変わる効果もつけられるという点で、子供たちも楽しく取り組むことができた。



編集後、ナレーションをビデオカメラで録画し、ビデオ編集ソフト「超編」を使って教師がビデオに取り込んだ。

作品は、授業参観で一年生と保護者に発表された。自分の子のビデオはもちろんであるが、他の子のビデオも誕生の秘話が聞けて感動したと好評だった。

II レッツトライII

自作マルチメディア教材の活用

三、四年生の社会科の学習では、見学活動を行うことが多いが、様々な都合で見学に行けないこともある。そのようなときに、自作教材制作委員会が作成しているマルチメディア教材が役に立つ。郷土読本「おかさき」に即した内容なので、社会科の指導を苦手と感じている先生にとっても、使いやすいだらう。

今回、三年生の「火事からくらしをまもる」の単元の中で平成十七年度に作成された「ストップザ火事」を活用した。この教材の特徴は消防に関する動画が数多く収録されていることだ。火事の通報を受けてから消防車が出動するまでの様子など、容易に目にすることができない場面が数多く収録されている。子供たちが大好きなクイズもあるので、これも合わせて消防について楽しく学習を進めることができた。



マルチメディア教材は、現在五作品がOKリンクの「岡崎自作教材」のページに収められている。

(常磐小学校 学習情報主任 黒木 貴章)

II 視聴覚あれこれII

●第33回 平成19年度松下実践研究助成決定
松下教育研究財団による第33回実践研究助成に、全国二六〇件の応募の中から、市内から岡崎市現職研修委員会学習情報部が選ばれました。研究テーマは、「学校・地域・家庭を結ぶネットワーク利用の研究」です。平成19年度1年間の研究に対する助成になります。助成金贈呈式は、平成19年5月に東京で行われます。

●平成18年度(第51回)

愛知県自作視聴覚教材コンクール結果

(市内関係分)

「コンピュータソフトウェア」

・マルチメディア教材」

最優秀賞(教育長賞) 学校教育部門

「イチゴのひみつ」岡崎の農家の仕事」

自作教材制作委員会G班

優秀賞 学校教育部門

「筆順の友」 岡崎市根石小学校 竹内昭博

「ビデオ教材」

最優秀賞(教育長賞) 学校教育部門

「心の扉を開く福祉

「生活挑戦者」と共に生きる」

自作教材制作委員会A班

優良賞 学校教育部門

「乙川」水質の変化を追え」

自作教材制作委員会E班

生涯学習部門

「豊職人の技」 岡崎映像サークル 矢野正義

佳作 学校教育部門

「岡崎の石職人」見直される伝統の技」

自作教材制作委員会C班

「Joyful English ~Young Samurai~」

自作教材制作委員会F班

ライブラリーだよ

●新機種紹介

デュプリケーター(DVD/CDコピー機)

視聴覚ライブラリーに設置された新機種です。パソコンレスで、1:3でハードディスクにイメージを入れると非常に早く焼くことができます。DVDやCDなど、著作権の問題がなくコピーできる場合にぜひご利用ください。

●貴重な映像をDVDに

昭和37年制作の自作8ミリ映画「岡崎市内線」(13分)と昭和38年制作の自作8ミリ映画「東岡崎駅」(12分)をDVD化することができました。かつて岡崎市内を走っていた路面電車や沿線の風景、改札口や切符売り場など懐かしい貴重な映像がたくさんあります。静止画も多数あります。小学校社会科の「くらしのうつりかわり」の学習はじめ、いろいろな場面にお役立てください。



◎編集後記

今年度も岡崎の視聴覚教育の取り組みについてお伝えすることができました。多くの実践や情報をお寄せいただきありがとうございます。来年度も一層の充実を図っていきます。